



2025～2026 年度 越谷東ロータリークラブ運営方針 UNITE FOR GOOD | いいことのために 手を取りあおう

ロータリアンとしての矜持をもって機会の扉を開こう!

“Open the doors to opportunity with the dignity of a Rotarian!”



第1837回 新年度 第一例会 令和7年7月3日(木)

司会：会場運営委員会 星野 敦銳 委員会報No.1612号／担当：委員一同

会員数：75名／出席率：74%

ロータリー情報月間

新 入 会 員

山商リフォームサービス株式会社



やまざき まさひろ
取締役会長／最高経営責任者(CEO) 山崎 晶弘 様

ビジター・ゲスト

2025学年度 国際ロータリー第2770地区



り いりん
米山記念奨学生 李 依霖 様

プログラム

- ◆開会点鐘 会長 隅田 諭司
- ◆国歌斉唱・ロータリーソング・クラブソング斉唱
- ◆ロータリーの目的・四つのテスト斉唱 職業奉仕委員会
- ◆ビジター・ゲスト紹介 会長 隅田 諭司
- ◆結婚・誕生祝い 進行：親睦友愛委員会
- ◆会長挨拶 会長 隅田 諭司
- ◆幹事報告 幹事 石渡 毅
- ◆委員会報告 各委員会
- ◆新会員入会式 勧誘委員会
- ・山商リフォームサービス株式会社
取締役会長／最高経営責任者(CEO) 山崎 晶弘 様
- ◆ビジター・ゲスト挨拶 勧誘委員会
・2025学年度 国際ロータリー第2770地区
米山記念奨学生 李 依霖 様
- ◆ロータリー情報 オリエンテーション教育委員会
--- コーヒーブレイク ---
- ◆会長所信表明 会長 隅田 諭司
- ◆スマイル報告 スマイル委員会
- ◆出席報告 出席委員会
- ◆閉会点鐘 会長 北林 隆一



会長挨拶

会長 隅田 諭司



今年度、最初の会長挨拶は、「対立と調和」をテーマにお話させて頂きます。

要するに、対立することを避けずに真正面からぶつかり合ってこそ、本当の意味の調和、和合がある、という趣旨のお話です。

ご存知の方も多いと思いますが、かねてから地区とクラブの関係性が取り沙汰されていて、地区側の歴代ガバナーさんは、「何かにつけて、「クラブのために地区がある。」とか「私たちにはクラブのために頑張ってる」みたいなことを口では言っていますね。



でも、起きている現象としては、「クラブのために地区がある。」という言葉とは裏腹に、①決算の承認に際しての質問に答えようとしない。②クラブの意見をまとまには聞かずに地区法人化の手続きを強行してしまう。③次年度予算についても、予算書の説明は3分で済ませて、シャンシャンで通そうとする。いずれも昨年から今年にかけて、起きている事実を挙げました。

地区史上、無かったことだと思いますが、5月20日に行われました地区クラブリーダーシップ・ラーニングセミナーの会長エレクト部会において行われた地区次年度予算の承認決議が63クラブ中、賛成30 反対33で否決されました。

ちなみにですが、予算案の承認決議が否決された要因としては、一言で言うと「必要なプロセスの欠如」に尽きます。

確かに、RI細則に照らして、各クラブの会長エレクトがクラブを代表して、次年度地区予算に対する議決権を行使することが期待されています。ただし、それはあくまでも各クラブの細則に基づいて、予めクラブ内での理事会の承認（もしくは会長エレクトに一任するなどの決議）に基づいてはじめて有効な議決権行使することが可能な構造になっています。

したがいまして、次年度地区予算について議決することが予定されている場合には、予め各クラブの会長エレクトがクラブ内の理事会の承認を得るに足る時間的猶予と必要な説明資料などを提供して頂いて、はじめて会長エレクトがクラブの理事会の承認を得た上でクラブの意

思を反映して議決権行使することが可能となります。

ところが、今回の議決に際しては、予めクラブリーダーシップ・ラーニングセミナーの会長部会において次年度地区予算について議決することの予告がなされていませんでしたし（理事会の承認を得るに足る時間的猶予の欠如）、採択の対象となる予算書案についての何らの説明資料の提供もなされていませんでした（承認を得るに足る必要な説明の欠如）。

また、私の拙い経験に基づく認識では、クラブ内の諸先輩方の多くが「PETSの際に次年度地区予算が配られて、特に承認の手続きらしい決議も無いままいつの間にか承認されたことになっていた。」と語られています（いわゆる“シャンシャンの予算承認”）。

そのこともあり、私は、PELSのご案内を頂戴した後、PELS開催に先立つ3月22日に貴殿および関係者宛に下記内容のご質問メールをお送りしておりますが、どなたからも何らの回答も頂けませんでした。

（以下3/22メールからの引用）

ガバナーエレクト 熊木 様
次年度地区副幹事事務局長 松本 様
いつもお世話になっております。
越谷東RCの隅田と申します。

PELSの次第案をお送りいただきましてありがとうございました。

プログラム案を拝見した限り、次年度地区予算についての承認手続が予定されていないようですね。
各クラブを代表する会長エレクトから4分の3の承認が必要かと思います。

下記の条項は、国際ロータリー細則からの抜粋です。

15.060. 地区の財務

15.060.1 地区資金

各地区は、大会の決議によって、地区資金を設けても差し支えない。その目的は、地区提唱プロジェクトおよび地区内におけるロータリーの管理・発展の資金を調達することである。地区資金の不適切な管理または第15.060.4.項への違反を含め、金銭上の義務を果たさなかつたくなる人も、財務上の不正が地区内で解決されるまで、一切のRIまたは地区的役職に就かないものとする。

15.060.2. 地区賦課金の承認

地区資金を調達するために、地区内の会員に対して賦課金を割り当てるものとする。賦課金の額は、次のいずれかによって決定するものとする。

- (a) 大会に出席し投票する選挙人の過半数
- (b) 研修・協議会またはPETSでの次期クラブ会長の4分の3の承認。標準クラブ定款第11条第5節 (c) において指定された代理を含む。

また、前回議決当日に行われた地区会計ご担当者様のご説明は、わずかに3分あまりでしかなく（質疑応答の時間を除く）、その内容に照らしてあまりにも不十分のそしりを免れないと言えます。

上記の通りの経緯に照らし、また、クラブリーダーシッ

プ・ラーニングセミナーの次第を見ても、特に次年度地区予算についての承認決議がなされることを予想するに足るプログラム案にはなっていなかったため、私はもとより多くの会長エレクトの方が、前回議決に際して承認を求められた際には「不意打ち」の印象をお持ちになつたものと感じております。

なお、地区には現時点において、定款も細則も存在しておりません。地区分担金の徴収を主たる収入とする予算案の決議に際しては、すべからく上記「RI細則 15.060.2 地区賦課金の承認 (b)」の規定に照らし、会長エレクトの4分の3の承認を要することを付言しておきます。

5月20日に地区の次年度予算が否決されました。その後、どうなったか？

私の方で、あらためて、次年度地区予算案が採択されるには至らなかった要因が、必要なプロセスが欠如していたために多くのクラブの賛同を得られなかつたことに尽きることを指摘した上で、第8グループの大熊ガバナー補佐にも相談した上で、大熊さんを通じて、予算案に対する質問を熊木ガバナーエレクトにお送りしました。

2回目の次年度地区予算の決議が6月18日にガバナー事務所で行われることとなりまして、再議決されました。



その間に、不十分ながらもある程度の回答が予め送られてきた上で、当日も私を含めた各クラブの会長エレクトがする質問に対して、誠意あるご回答を得ることが出来ました。

その結果、次年度地区予算については、地区内の66クラブ中、64クラブの承認（うちリアル出席は22クラブ、委任状が44）を得て採択されました。

とても丁寧にご説明頂けましたし、クラブからの意見に対して、真摯に向き合つて頂けたと感じました。



採択されたとき、会場にいた会長エレクトさんたちからは、「ありがとうございました。」といって涙ぐむ熊木ガバナーエレクトに向けて拍手喝采でした。

ほんと、みんなで円くなつて「手に手つないで」歌っちゃおうか？ぐらいその場の雰囲気が感動的でした。初めてじゃないでしょうか？地区予算の決議でこんなに真剣に質疑応答が交わされたのは。

全体の会議終了後に、熊木ガバナーエレクト、三枝ノミニー、福永地区幹事、中里パストと30分ほど忌憚のない意見交換を個人的にさせて頂きました。

地区がクラブの声に耳を傾けて、クラブの意思が反映される地区運営を目指すことで意見が一致しました。たいへん有意義な会議でした。

このことを通して、皆さまに申し上げたいのは、対立を避けずに向き合うことが真の調和・和合を生むということです。

- ・対立を避けることで一時的な平穏や摩擦の回避は得られるが、根本的な意見の違いは解消されず、潜在的な不満や誤解が残る。
- ・意見の違いを率直にぶつけ合い、理解と納得を得てこそ、持続的な信頼関係が生まれる。
- ・「対立」というと聞こえが悪いが、異なる視点・価値観が存在する証拠。
- ・対立を通じて問題点や課題が明確になり、建設的な解決策を見出すことができる
- ・また、これを受け入れ、議論することで、より広い視野や新しい発想が生まれる。

以上、長くなりましたが、次年度地区予算の決議を通じて、対立を避けずに向き合うことで調和・和合を生むことが出来たという体験をシェアさせて頂きました。今日の会長挨拶は以上となります。



・次週はクラブ協議会となりますので、各委員長は

ご準備をお願いいたします。

- ・2026-2027年度 IM実行委員長として浜野隆浩会員が指名され理事会にて承認されました。
- ・星野会員ご推薦の鈴木友治様の入会が本日の理事会にて承認されました。7日間（7/10まで）異議申し立てを受け付けます。
- ・9/18候補日として浦和ダイヤモンドクラブか当クラブヘメーキャップツアーパーを予定しております。
- ・カルガリーの国際大会にご参加の浜野会員、佐久間会員、深江会員、田邊会員、麻生会員よりチョコレートのお土産が届いております。コーヒータイムと共に楽しみください。

委 員 会 報 告



親睦友愛委員会 委員長 浜野 隆浩



エイラ帰国報告 北林 隆一 会員

新会員入会式



山商リフォームサービス株式会社
取締役会長／最高経営責任者（CEO）

山崎 晶弘 新会員



進行：勧誘委員会 委員長 小暮進勇



紹介者：青木伸翁 会員



- 所属委員会：職業奉仕委員会、スマイル委員会
- カウンセラー：青木伸翁 会員

ビジター・ゲスト挨拶

2025学年度 国際ロータリー第2770地区 米山記念奨学生 李 依霖 様



会長所信表明



皆さん、7月より会長を務めさせていただいております隅田でございます。

微力ではございますが、精一杯務めさせていただきます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

●2025-26年度 RI会長 フランチェスコ・アレツィオ

彼からのメッセージを皆さんもお読みかと思います。すごく良いことを言ってますよね。

シンプルにお伝えすると、よいことのために手を取りあおう。マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ（ブラジル）さんのメッセージを継承した上で、強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。と述べています。

青木さんも浜野さんも言っている、親睦が大事だと。

RI会長がまだロータリーに入会したばかりの若い時の思い出について語っています。

「ロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました。でも、人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。」

●ロータリーとは、「光栄な機会」

私は、日頃、「ロータリーとは何か？」について尋ねられたならば、それは「光栄な機会」だと述べるようにしています。ロータリークラブは、もしそこに所属していなかったならば、得られなかつたであろう『人との出会い』や『自分を活かして人に奉仕するチャンス』をくれる「光栄な機会」なのです。

もともと私は、ロータリーの例会にもほとんど参加しない“不良会員”でした。

ご逝去されました山崎勝己さんが会長の年度に社会奉仕委員長を拝命しまして、この年に地区補助金の大口枠申請等の活動を通じて、ロータリーは、『人との出会い』や『自分を活かして人に奉仕するチャンス』であり、それは自分の人生に彩りをくれる「光栄な機会」などと実感しました。

歴代会長見たときに、共通して感じるのが、会長として、「よしやったろう！」という『覚悟』がある、と。



これって、経営者として最も必要な資質の、ひとつですよね。

そして、覚悟をもって会長という立場に立つからこそ、見えてくる世界があるんだろうなと思います。

会長所信表明

五十嵐久幸会長の時に、選ばれるクラブをビジョンとして掲げて頂いた。

その時にふさわしいビジョンだったことが五十嵐会長の口を通して表現されたんでしょう。

そして、今、既に選ばれるクラブになっていますから、次、どこを目指すかと言うときに、私は、『憧れられるクラブ』へと向かっているなど感じました。



思い付きでら言っているのではなく、そうなりつつあるのを発見して、皆さんにお知らせしている役目なんだと思いました。

東といえばもう越谷東の事を指している誰もが認めています。

川口モーニング、浦和ダイヤモンド、地区の増強維持委員会でメーキャップツアーアクション、まず越谷東に行こうと言っている。

既にそうなりつつあるクラブ後のクラファンキッチンカー。

まだ伸び代たくさん、さらに磨きをかけていきたい。成長する事に関しては、決して満足はしません。妥協はしません。

何で？ 私が尊敬する岡村がバナーが強調して述べています。

ロータリーに安定は無い。成長か衰退か。

各委員長さんへ。

奉仕とは？ 人さまのお役に立つこと。

お役に立つこととは？ 自己満足で何かをするのではなく、自分を取り巻く環境、世界、コミュ

ニティから期待された何かに応えること。

ロータリーには、ハイかイエスしかないという言葉。

ずいぶん都合のいい言葉だなあ！ハイ、ハイとかわせば良いと思ってきた。

自分で生み出して欲しい、魅力ある、憧れる存在としてのクラブになるのにまだ伸び代あるとしたら、何が出来るか。真剣に向き合ったら必ずアイデアが降りてくる。それを実行してほしい。

●今年度のクラブ目標について

さて、今年度、越谷東ロータリークラブとして掲げる具体的な数値目標は、

1. 会員数の純増5名
 2. 例会出席率80%
- の2点です。

皆さんを感じている「うちのクラブの魅力」とは何でしょうか？

それを発見し、シェアし合うことが、活動の「楽しさ」につながり、自然と新たな仲間を呼び込む力になると信じています。もし、私たち自身がこのクラブの魅力を心から楽しめていれば、純増5名という目標も自然と達成できることでしょう。

●例会の景色—越谷東ロータリーの象徴

私が誇りに思うクラブの魅力の一つは、この例会の「景色」です。

ここには、世代や職業を超えた多様な仲間が集い、互いに刺激し合い、励まし合う温かな雰囲気があります。この景色こそ、越谷東ロータリークラブならではの財産です。

ぜひ、この景色を多くの方に見に来ていただきたい—

「一度、例会の景色を見に来ませんか？」と、皆さんの周囲の方々にお誘いください。きっと、その魅力を感じていただけるはずです。

会長所信表明

●ロータリアンとしての矜持を頸そう

ここで、皆さんに問いかけたいと思います。
「あなたはなぜロータリアンでありたいのですか？」
「あなたにとって、ロータリアンとしての矜持とは？」
この問いに、ぜひ一年間かけてご自身の答えを

見つけてください。

ロータリアンとしての矜持—それは、奉仕と親睦に誇りを持ち、積極的に行動し続ける姿勢だと思います。

この一年間、皆さん一人ひとりが自らの矜持を証明し、クラブ全体でその誇りを頸していきましょう。



ロータリーの目的・四つのテスト齊唱



職業奉仕委員会 委員長 井橋興藏

ロータリー情報



オリエンテーション教育委員会 委員長 小林賢弘

おめでとうございます

誕生日

7月

進行：親睦友愛委員会 宮本正行 委員

結婚記念



(前段左より) 平野武志 会員、小暮進勇 会員、

株竹眞次 会員、石渡毅 幹事

(後段左より) 高橋功 会員、栗屋裕二 会員、

深江麻衣子 会員、吉井淳平 会員

(左より)

榎本裕希 会員、加藤盛也 会員、橋本政行 会員、

立澤貴明 会員



今 回	36,000円
-----	---------

累 計	36,000円
-----	---------



スマイル委員会 委員長 鈴木一朗



司会：会場運営委員会 委員長 星野敦銳



出席委員会 委員長 田邊麻衣

次回例会のご案内

第1838回 7月10日(木) 12:30点鐘

● ビジター・ゲスト

- 2025-2026年度 国際ロータリー第2770地区
・第8グループガバナー補佐 大熊 正行 様
・ガバナー補佐幹事 近藤 慎吾 様
・青少年奉仕部門委員長 星野 晃一郎 様
・インターラクト委員長 鳥井 義兼 様

● クラブ協議会

